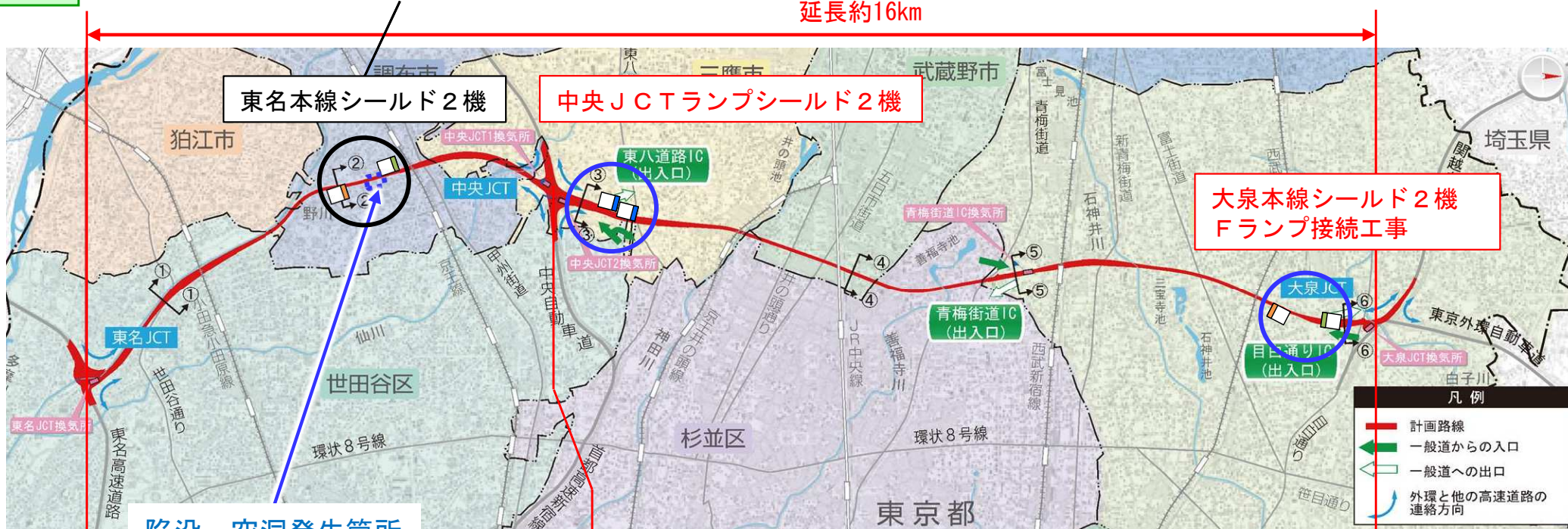


東京外かく環状道路(関越～東名)現在の状況

平面図

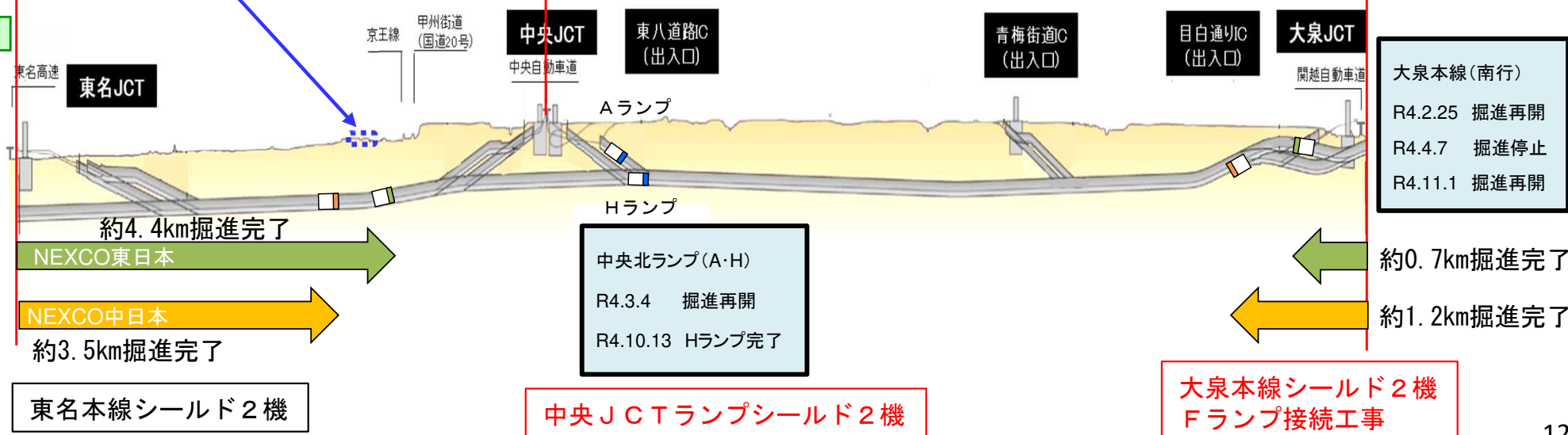
地盤補修、補償等の対応に優先的に取り組む

延長約16km



縦断面図

2022年11月15日時点



陥没・空洞事故の経緯 [発生箇所の位置]



令和2年10月18日
陥没位置
埋戻し完了(約140m³)

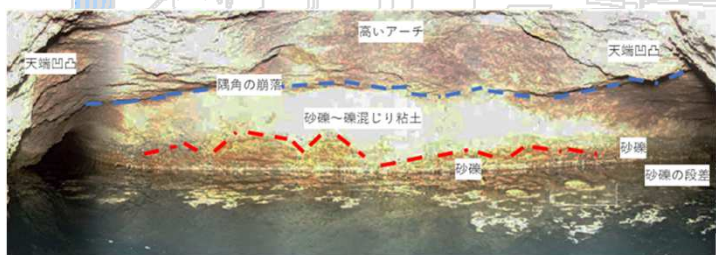
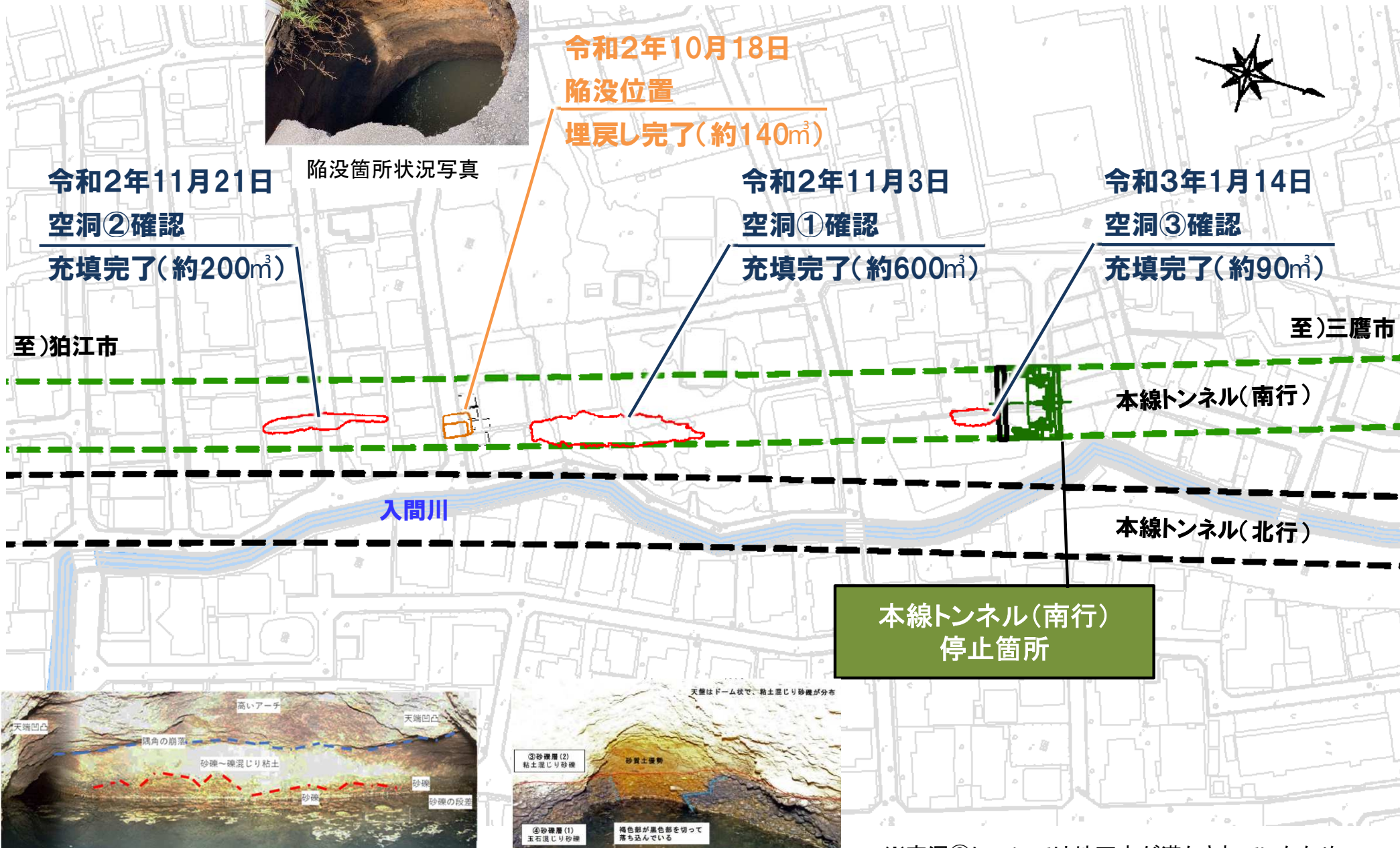
令和2年11月21日
空洞②確認
充填完了(約200m³)

令和2年11月3日
空洞①確認
充填完了(約600m³)

令和3年1月14日
空洞③確認
充填完了(約90m³)

至)狛江市

至)三鷹市



空洞②状況写真



空洞①状況写真

本線トンネル(南行)
停止箇所

※空洞③については地下水が満たされていたため
写真撮影不可でした。

陥没・空洞事故の経緯

■これまでの経緯

2020年

10月18日

地表面の陥没を確認
応急措置として砂による埋土を実施(翌朝埋土完了)

10月19日

第1回 有識者委員会※を開催

※トンネルの構造、地質・水文、施工技術等について、より中立的な立場での確認、検討することを目的として設置。

10月23日

第2回 有識者委員会を開催

11月 3日

陥没箇所から約40m北にて、空洞①を確認
(11月24日充填作業完了)

11月 5日

第3回 有識者委員会を開催

11月6日、7日

陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催(計3回)

11月21日

陥没箇所から約30m南にて、空洞②を確認
(12月3日充填作業完了)

11月27日

第4回 有識者委員会を開催

陥没箇所周辺の方を対象に家屋中間調査の意向確認を開始

12月18日

第5回 有識者委員会を開催

・陥没・空洞の要因分析(中間とりまとめ)

12月20日、21日

陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催(計3回)

12月25日

専用フリーダイヤルを開設

陥没・空洞事故の経緯

■これまでの経緯

2021年

1月 8日

家屋補償等に関する相談窓口を開始
※3月末時点で計18回実施

1月14日

陥没箇所から約120m北にて、空洞③を確認
(1月22日充填作業完了)

2月12日

第6回 有識者委員会を開催

- ・追加調査等を踏まえたメカニズムの特定
- ・地盤の補修範囲等の特定
- ・再発防止対策の基本方針の議論

2月14日、15日

陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催(計3回)

2月26日

陥没箇所周辺の各戸訪問(約1,000世帯)を開始

3月19日

第7回 有識者委員会を開催

- ・再発防止対策の確定
⇒報告書の公表

4月 2日～7日

陥没箇所周辺及び沿線7区市の方を対象とした説明会を開催
(計10回)

4月19日

常設の相談窓口(つつじヶ丘相談所)を開設

陥没・空洞事故の経緯

■これまでの経緯

2021年

9月10日 トンネル坑内からの調査結果に基づく地盤補修範囲の特定

12月10日、11日 現場視察会を開催

○現場視察会の実施状況

12/10(金) 18組 24名

12/11(土) 32組 57名

合計 50組 81名

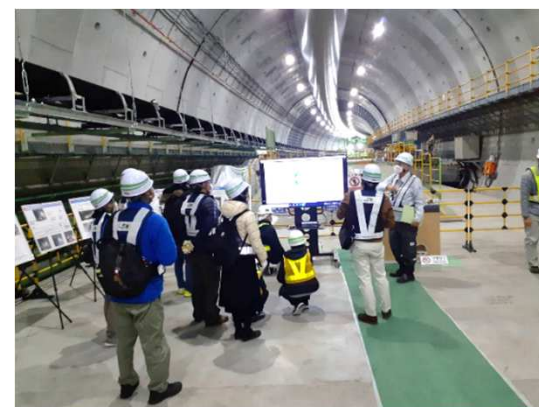
○主なご意見

- ・定期的また広範囲の人に見学できるようにしてもらいたい
- ・実際にどんな工事が行われているかわかって安心感につながった
- ・二度とトラブルの無いように施工してほしい

○改善要望

- ・陥没箇所やシールドマシン付近までの見学を希望
- ・陥没、空洞事故について詳しい説明を聞きたかった
- ・開催告知をもっと早く知らせるべき

○上記のご意見等を踏まえ、今後も同様の視察会開催を検討してまいります



12月14日 調布市域(入間川東側エリア)における追加調査結果の公表

12月17日、18日 『地盤調査状況及び地盤補修に関する検討状況のご説明』

陥没・空洞事故の経緯

■これまでの経緯

2022年

3月27日、28日 陥没・空洞箇所周辺にお住まいの方を対象としたオープンハウスを開催

9月11日、12日 地盤補修工事の全体計画の検討状況をご説明するオープンハウス及び意見交換の場を開催

10月 7日、 8日 地盤補修工事の全体計画に関するオープンハウス及び意見を意見交換の場を開催。あわせて調布市にお住まいの方を対象に、陥没・空洞箇所の現在の状況や、陥没箇所周辺で実施する地盤補修工事の全体計画等をご説明するオープンハウスを開催